

平成28年度進行管理・評価シート
鎌倉市歴史的風致維持向上計画（平成28年1月25日認定）

□進捗評価シート(様式1)

①組織体制(様式1-1)		
1 計画の実現に向けた推進体制		1
②重点区域における良好な景観を形成する施策(様式1-2)		
1 都市計画に関する施策		2
2 景観地区の活用		3
③歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項(様式1-3)		
1 景観重要建築物等助成事業		4
2 史跡永福寺跡環境整備事業		5
3 扇湖山荘庭園防災工事事業		6
4 歴史的風致形成建造物保存整備事業		7
5 交通需要マネジメント事業		8
6 社寺境内公衆トイレ改修・整備事業		9
7 歩行環境改善事業		10
8 樹林維持管理事業		11
9 緑地維持管理事業		12
10 緑地保全事業		13
11 風致保存会助成事業		14
12 歴史的風土特別保存地区買入れ事業		15
13 古都保存法施行50周年記念事業		16
14 (仮称)鎌倉歴史文化交流センター整備事業		18
15 発掘調査速報展事業		19
16 出土遺物庁舎内展示事業		20
17 史跡環境整備事業		21
18 文化財保存・修理助成事業		22
19 文化財調査・整備事業		23
20 観光案内板整備事業		24
21 鎌倉彫振興事業所整備事業		25
22 郷土芸能普及啓発支援事業		26
23 御霊会助成事業		27
24 教育情報事業		28
④文化財の保存又は活用に関する事項(様式1-4)		
1 文化財の指定		29
2 文化財の修理(整備事業を含む)及び防災		30
3 文化財の保存・活用の普及及び啓発		31
⑤効果・影響等に関する報道(様式1-5)		
1 鎌倉市の風致計画 国が認定 ほか		32
⑥その他(効果等)(様式1-6)		
1 日本遺産の認定		33
2 歴史的遺産と共生するまちづくり(歴史的風致維持向上計画)の啓発		34
□法定協議会等におけるコメントシート(様式4)		35

評価軸①-1
組織体制

項目	評価対象年度	平成28年度
		現在の状況
計画の実現に向けた推進体制		☐ 実施済 ☒ 実施中 ☐ 未着手

計画に記載している内容

計画を推進するためには、特に文化財保護行政とまちづくり行政とが密接に連携していく必要があることから、計画策定段階で設置した庁内の横断的な組織である「歴史的遺産と共生するまちづくり推進検討委員会」を中心に、関連部局との連携体制の強化を図るものとする。また、同じく計画策定段階で組織した「鎌倉市歴史的風致維持向上計画協議会」についても、定期的に関催し、PDCAサイクルを意識した変更協議や計画実施に係る連携調整機関としての役割を担うこととする。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

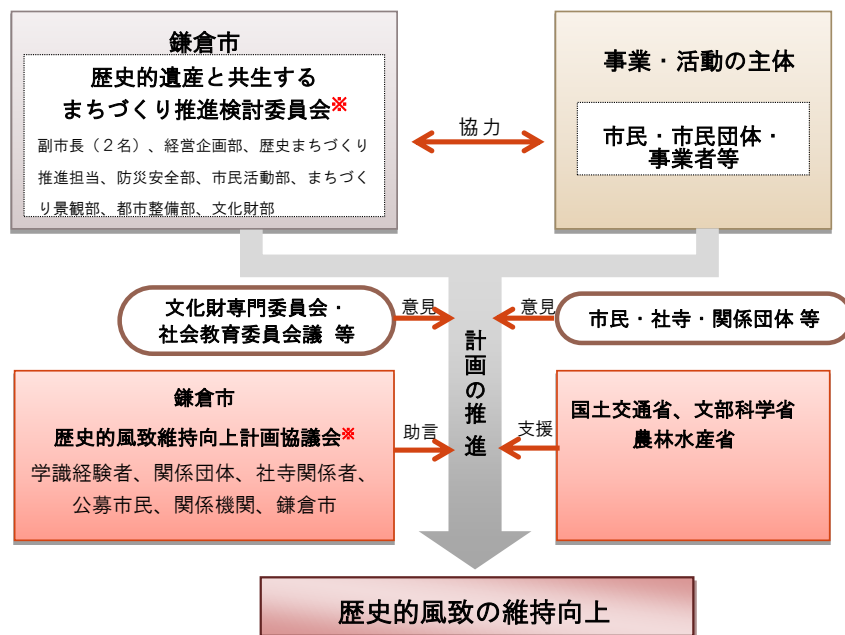
・「歴史的遺産と共生するまちづくり推進検討委員会」を1回開催した。(平成28年10月25日)
 平成28年度における構成事業の進捗状況を報告し、今後の構成事業スケジュールについて協議を行った。

・「歴史的風致維持向上計画協議会」を1回開催した。(平成29年3月13日)
 計画の進行管理・評価について及び軽微な変更について協議を行った。また、歴史的風致形成建造物の指定について報告を行った。

進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)
☒ 計画どおり進捗している ☐ 計画どおり進捗していない	庁内の横断的な連携をより深めるために「歴史的遺産と共生するまちづくり推進検討委員会」の構成委員について、体制を強化していく必要がある。

状況を示す写真や資料等

○平成28年度の推進体制



歴史的遺産と共生するまちづくり推進検討委員会

- 開催日 平成28年10月25日(金)
- 議題 歴史的遺産と共生するまちづくりの取組状況について
・鎌倉市歴史的風致維持向上計画の構成事業スケジュール等について

歴史的風致維持向上計画協議会

- 開催日 平成29年3月13日(月)
- 議題 (1)「鎌倉市歴史的風致維持向上計画」の進行管理・評価について
(2)「鎌倉市歴史的風致維持向上計画」の軽微な変更について
- 報告 歴史的風致形成建造物の指定について

評価軸②-1

重点区域における良好な景観を形成する施策

		評価対象年度	平成28年度
項目		現在の状況	
都市計画に関する施策		☐実施済 ☒実施中 ☐未着手	
計画に記載している内容	重点区域を中心に古都保存法や都市計画法、景観法などの様々な制度を活用し、良好な景観の形成に努めてきた。本計画の推進においても、既存制度やこれまでに策定した計画の適正な運用により、歴史的風致の維持向上に努めるものとする。		
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で			
平成25年8月に策定した「鎌倉都市計画 都市計画道路の見直し方針」に基づき、都市計画道路変更手続を開始した。			
進捗状況 ※計画年次との対応		実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)	
☒計画どおり進捗している ☐計画どおり進捗していない		今後、平成29年度の都市計画変更を目標として、法令等に基づく都市計画手続を進めていく。	

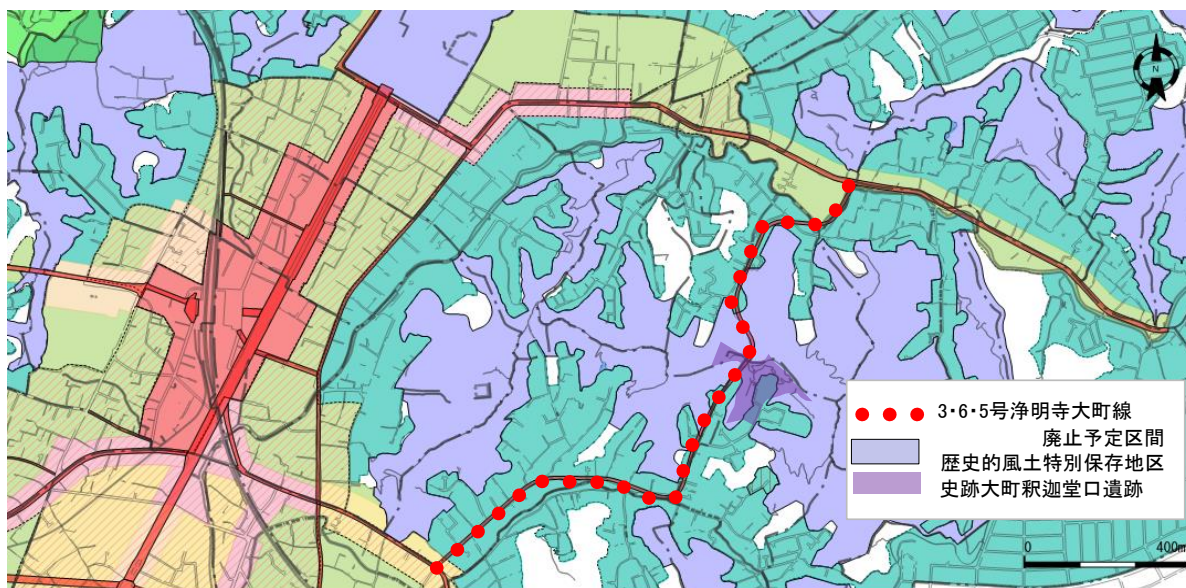
状況を示す写真や資料等

◆ 重点区域への影響

「鎌倉都市計画 都市計画道路の見直し方針」では、市域における都市計画道路全39路線の見直しを行い、長期未着手の都市計画道路について必要性や課題を整理し、存続、廃止、変更等の判断を行った。うち18路線については、廃止又は変更の方針としたため、平成29年度都市計画変更を目標に、都市計画手続を進めている。

その中で、重点区域内に位置する長期未着手の都市計画道路(3・6・5号浄明寺大町線)を廃止の方針としている。

同路線は歴史的風土特別保存地区や史跡指定地を地表式で通過する計画であるため、歴史的風土や緑地保全に直接的に多大な影響を与え、また廃止の影響を受ける対象路線の影響は小さいことから、廃止と判断した。



◆ 平成29年1月に市民向け説明会を開催した。

・ 説明会の様子



・ 説明会の案内



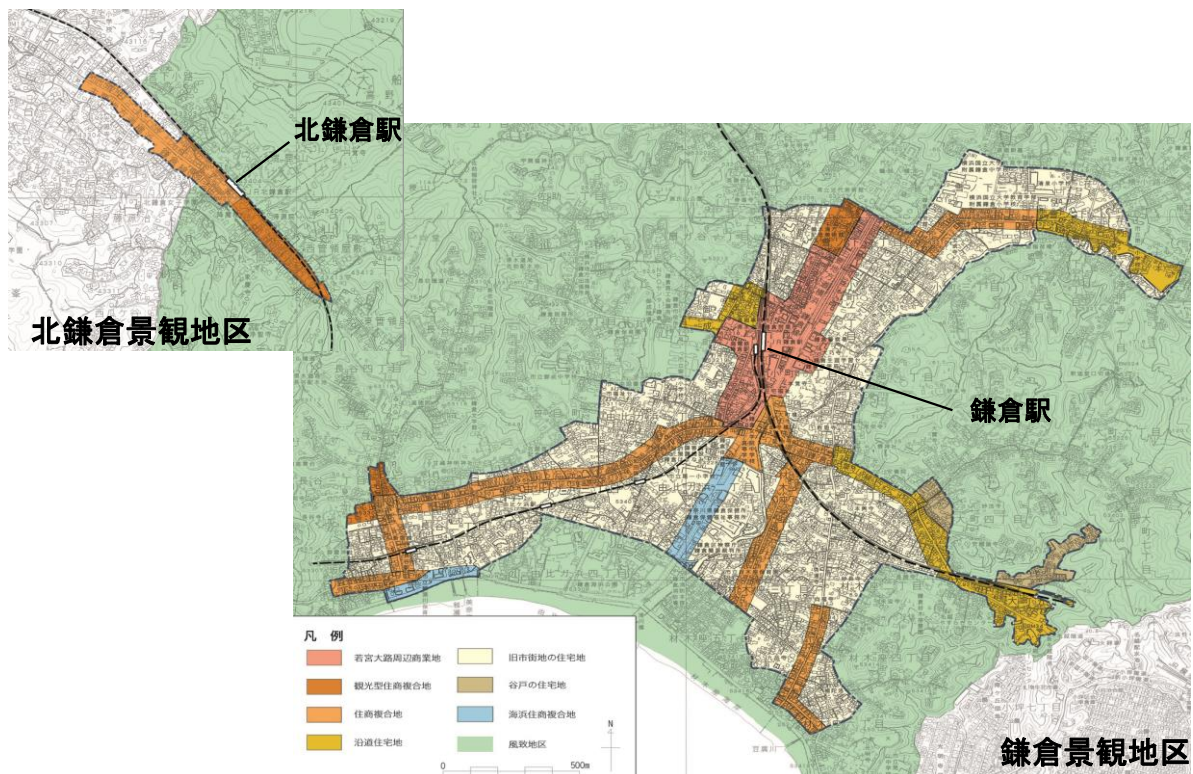
評価軸②-2

重点区域における良好な景観を形成する施策

		評価対象年度	平成28年度
項目		現在の状況	
景観地区の活用		☐実施済 ☒実施中 ☐未着手	
計画に記載している内容	重点区域を中心に古都保存法や都市計画法、景観法などの様々な制度を活用し、良好な景観の形成に努めてきた。本計画の推進においても、既存制度やこれまでに策定した計画の適正な運用により、歴史的風致の維持向上に努めるものとする。		
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で			
・平成19年に策定した鎌倉市景観計画に基づき、良好な景観形成のための規制誘導を行った。また、景観計画策定後10年を迎えることから、改定作業を行った。(平成29年7月施行予定) ・重点区域内に位置する鎌倉景観地区及び北鎌倉景観地区内の建築物の建築等に対し、景観形成基準に基づき規制誘導を行った。 ・神奈川県屋外広告物条例及び鎌倉市景観計画に基づき、良好な景観形成のための規制誘導を行った。 【定量的数値】 景観地区内認定件数:鎌倉景観地区 121件／北鎌倉景観地区 3件(いずれも平成29年2月20日現在) ※申請があった全ての建築物の建築等が、協議を経て景観形成基準を満たしたため、計画を認定した。			
進捗状況 ※計画年次との対応		実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)	
☒計画どおり進捗している ☐計画どおり進捗していない			

状況を示す写真や資料等

鎌倉景観地区及び北鎌倉景観地区 位置図



景観地区の概要

- ・鎌倉景観地区及び北鎌倉景観地区において、それぞれ形態意匠の制限を定めている。さらに、両景観地区内を7つの地区に区分し、地区ごとに形態意匠の制限(色彩の制限も含む)を定めている。
- ・建築物の高さの最高限度は15m(第一種低層住居専用地域内においては10m)。ただし、この高さ制限を満たしている場合においても、周辺のまち並みに調和しない形態意匠であれば、高さを更に抑える必要がある。
- ・原則として、全ての建築物の建築等について認定申請を要する、(ごく小規模な建築物の建築等を除く)

評価軸③-1

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

評価対象年度		平成28年度
項目		現在の状況
景観重要建築物等助成事業		☐ 実施済 ☒ 実施中 ☐ 未着手
事業期間	平成28年度～平成37年度	
支援事業名	市単独事業	
計画に記載している内容	市景観重要建築物等の保存又は活用のために必要な修繕、又は外観の修景を含めた工事に対する助成金を交付する。	
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で		
・景観重要建築物等助成(平成28年度) 実績2件／当初計画2件 ・都市景観条例に基づき指定している景観重要建築物等について、2件の建築物(鎌倉聖ミカエル教会聖堂及び旧安保小児科医院)の修繕等に対し、計2,750,000円の助成金を交付した。鎌倉聖ミカエル教会聖堂は外壁の塗装の剥離が進んでいたため、この修繕等を行った。また、旧安保小児科は耐震性能が十分でなかったことから、耐震工事等を行った。		
進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)	
☒ 計画どおり進捗している ☐ 計画どおり進捗していない	景観重要建築物等に指定している建築物等は、いずれも築年数が経過しているため、所有者からの修繕等の相談も多くなっているが、市の財政上、全ての相談に対応するのは難しい状況である。今後は平成27年に設置した、景観重要建築物等保全基金を有効活用していく。	
状況を示す写真や資料等		

鎌倉聖ミカエル教会聖堂 外壁修繕前

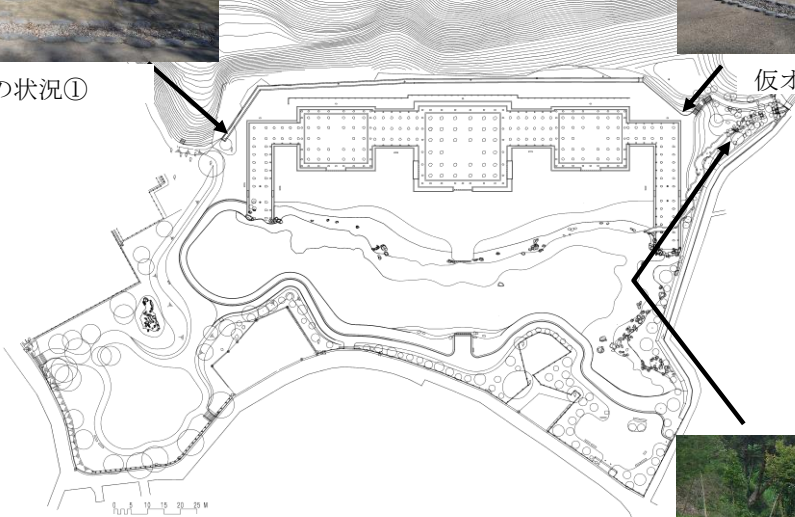


鎌倉聖ミカエル教会聖堂 外壁修繕後



評価軸③-2

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

項目		評価対象年度	平成28年度
		現在の状況	
史跡永福寺跡環境整備事業		☐ 実施済 ☒ 実施中 ☐ 未着手	
事業期間	昭和56年度～平成28年度		
支援事業名	国宝重要文化財等保存整備費補助金(文化財保存事業)		
計画に記載している内容	史跡永福寺跡について広く一般に公開するための環境整備を行う。		
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で			
・第3次鎌倉市総合計画第2期基本計画後期実施計画(平成24年度～平成27年度)において「国指定史跡永福寺跡の環境整備」を定めている。 ・平成9年度に策定した「国指定史跡永福寺跡整備基本計画」に基づき、整備委員会及び国・県の指導・助言を得て、第一次整備計画地16,575.30㎡の復元整備を行うとともに、周辺山林(庭園修景部分41,746.83㎡)の景観的復元を行っている。 ・昭和58年度から中心伽藍・苑池等の発掘調査を実施し、平成19年度までに16,199㎡を完了した。 ・平成24年度末、平成25年度末、には一般市民を対象とした整備状況を報告する現地説明会を開催し、平成27年7月には1週間一般公開を行った。平成28年度からは仮オープンとして、年間を通じて公開している。鎌倉には鎌倉時代を体現する空間がないため、整備を行うことにより、それを体現する空間を創造するとともに、遺構の保存を図り、学校教育や生涯学習の場を提供するねらいがある。			
進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)		
☒ 計画どおり進捗している ☐ 計画どおり進捗していない	公衆トイレ等便益施設の設置にあたっては、隣接する民有所有者等の承諾を得るのが難しい場所がある。今後は、便益施設の必要性を説明し、極力影響の少ない位置を選定すると共に、施設周辺と防犯上問題ない範囲で修景するなど、理解が進むよう調整を図る。		
状況を示す写真や資料等			
 仮オープン後の状況①  仮オープン後の状況②  史跡永福寺跡位置図  修景工の結果整備された遣水(やりみず)			

評価軸③-3

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

評価対象年度		平成28年度
項目	現在の状況	
扇湖山荘庭園防災工事業	☐ 実施済 ☒ 実施中 ☐ 未着手	
事業期間	平成28年度～平成36年度	
支援事業名	市単独事業	
計画に記載している内容	鎌倉山に所在する扇湖山荘の庭園において、斜面地の崩落を防ぐための工事を行う。	
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で		
・区域を12ブロックに分けており、その内1ブロックについて防災工事を完了した。 ・土砂崩落の危険箇所において高強度ネット及び養生シートの設置を実施した。 ・養生シートは緑地の自然環境に配慮し、在来の植物が根付き易い材料を選定した。		
進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)	
☒ 計画どおり進捗している ☐ 計画どおり進捗していない		

状況を示す写真や資料等

平成28年度実施状況



【高強度ネット設置前】



【高強度ネット設置後】

評価軸③-4

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

		評価対象年度	平成28年度
項目		現在の状況	
歴史的風致形成建造物保存整備事業		☐ 実施済 ☒ 実施中 ☐ 未着手	
事業期間	平成28年度～平成37年度		
支援事業名	市単独事業		
計画に記載している内容	重点区域内に在している歴史的風致形成建造物、その保存活用を図るため、必要に応じて耐震調査や改修設計内装の修理や外観の修繕を含めた工事等を行う。		
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で			
・計画に登載した歴史的風致形成建造物指定候補9件のうち、歴史的風致の維持向上に寄与する建造物1件「御成小学校旧講堂」について、歴史的風致形成建造物の指定を行った。(平成29年3月29日指定)			
進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)		
☒ 計画どおり進捗している ☐ 計画どおり進捗していない	今後、御成小学校旧講堂の保存活用を図るために、外観の修繕や内装の修理を含めた工事等を実施していく。また、指定に当たっては、景観重要建造物、景観重要建築物等及び文化財等に指定或いは登録されているもの、又は今後確実に指定或いは登録されるものを対象に、当該建造物の修理等の事業計画と併せて総合的に判断し、順次指定を行っていく。		
状況を示す写真や資料等			

御成小学校旧講堂



沿革等: 鎌倉町立御成尋常小学校の講堂として、昭和8年7月26日に上棟、同年10月14日に竣工
 構造規模: 木造平屋、トラス小屋組、床面積688.2㎡

大きな宝形屋根の二つの塔屋をもつ特異な和風の意匠をしており、同一敷地内にある御用邸時代の冠木門とともに、将来に継承していく必要のある今小路通りの顔として建っており、ランドマークとして景観上の重要性が高い建造物である。

評価軸③-5

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

項目	評価対象年度	平成28年度
交通需要マネジメント事業		☐ 実施済 ☒ 実施中 ☐ 未着手

事業期間 平成13年度～平成37年度

支援事業名 市単独事業

計画に記載している内容 休日を中心とした交通渋滞の緩和を図るため、交通需要マネジメント(TDM=Transportation Demand Management)施策を実施する。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

・平成26年度 鎌倉地域の地区交通計画策定に向けて「中間とりまとめ」を作成し、20の施策などの見直しを行った。
 ・平成27年度 (仮称)鎌倉ロードプライシングの検討に特化した鎌倉市交通計画検討委員会特別委員会を開催しシステムや法制度に関して議論を開始した。
 ・平成28年度 平成8年度以来の鎌倉地域の交通実態調査を実施し、現在の鎌倉地域の交通量などを調査した。鎌倉市交通計画検討委員会では20の施策中の歩行者尊重道路について検討を進めた。

進捗状況 ※計画年次との対応

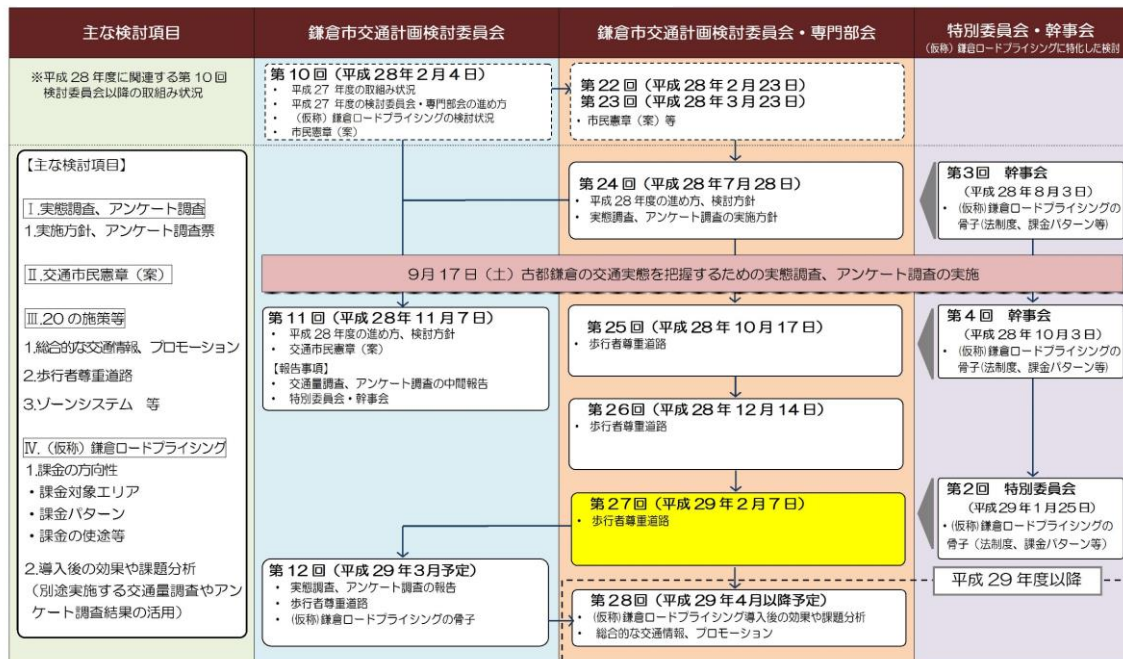
実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

■計画どおり進捗している
☐計画どおり進捗していない

(仮称)鎌倉ロードプライシングについては法制度やシステム面での課題を鎌倉市交通計画検討委員会・特別委員会で整理したが、平成29年2月現在、全ての課題解決には至っていないことから、引続き関係機関等との調整を行っていく。

状況を示す写真や資料等

鎌倉市交通計画検討委員会における平成28年度の進め方



※検討する内容や開催時期が変更になる可能性があります。

評価軸③-6

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

評価対象年度		平成28年度
項目		現在の状況
社寺境内公衆トイレ改修・整備事業		☐ 実施済 ☒ 実施中 ☐ 未着手
事業期間	昭和39年度～平成34年度	
支援事業名	集約促進景観・歴史的風致形成推進事業費補助金	
計画に記載している内容	老朽化の進んでいる社寺境内等の公衆トイレについて、ユニバーサルデザイン化と機能改善を図るための改修・整備を行う。	
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で		
・市内において観光客向けに整備している公衆トイレは34箇所あり、老朽化等により改修を要する10箇所の内、2箇所の改築又は改修、及び1箇所の整備に着手した。 ・妙本寺公衆トイレ改築工事について、平成28年3月に設計を完了し、平成28年12月に着工した。(平成29年7月7日完了予定) ・鶴岡八幡宮裏公衆トイレについて、平成28年12月に設計を完了し、改修修繕の一般競争入札により事業者を選定した。 ・浄智寺公衆トイレ建築のため、補助金の支出を行った。		
進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)	
☒ 計画どおり進捗している ☐ 計画どおり進捗していない	残存する老朽化の進んだ公衆トイレは、限られた狭いスペースに設置されているため、可能な範囲でユニバーサルデザイン化を行う。	
状況を示す写真や資料等		
 改修修繕 予定 八幡宮裏 公衆トイレ  外観  入れ替え対象のプラスチック式便器		
 改築中 妙本寺公衆トイレ  建て替えのため取り壊し済み 妙本寺公衆トイレ  平成28年3月15日完成 浄智寺公衆トイレ  整備 浄智寺公衆トイレ		

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

The figure includes a map of the study area in Maebashi City, Tokyo, and two photographs of the street scene. The map shows the location of the study area, with labels for '鎌倉大仏方面' (Kamakura Daibutsu area), '鎌倉駅方面' (Kamakura Station area), '長谷観音前交差点' (Hase Kannon-mae Intersection), '長谷寺方面' (Hase-ji area), '県道' (Prefectural Road), '長谷駅' (Hase Station), and '由比ガ浜方面' (Urigahama area). A red line indicates the study area, and red circles highlight the intersection and the station area. The photographs show the street scene from the intersection and the station area, with buildings and a road visible.

評価軸③-8

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

		評価対象年度	平成28年度
項目		現在の状況	
樹林維持管理事業		☐ 実施済 ☒ 実施中 ☐ 未着手	
事業期間	昭和63年度～平成37年度		
支援事業名	市単独事業		
計画に記載している内容	歴史的風土保存区域、近郊緑地保全区域等の良好な環境を守るため、該当地域を6分割し、毎年1地区を対象として、所有者に代わり樹木の枝払い等を実施する。 【実施内容】 ①自然林 山際の樹木が家屋に直接触れている部分及び家屋を被っている部分の枝払い、家屋や通行上で直接被害を受ける、又は危険を感じるとされる倒木や枯損木の伐採 ②人工林 人工的に植栽された樹木で、ある程度まとまりがある箇所の間伐や枝打ち等（自然林に係る事業を実施した後の予算の範囲内で実施）		
定性的・定量的評価（自由記述） ※定量的評価は可能な範囲で			
樹林管理事業の28年度実施数量 ・枝払い46本 ・伐採 24本（うち人工林18本） （申請者の要望には全て応えられた。）			
進捗状況 ※計画年次との対応		実施・検討にあたっての課題と対応方針（自由記述）	
☒ 計画どおり進捗している ☐ 計画どおり進捗していない		民有樹林地の樹木管理について要望が多くなっており、家屋に接触する等の支障がある樹林縁辺部を優先して事業を進めているため、人工林の管理（保育作業）は見送るケースがある。なお今後は6年サイクルを3年サイクルに短縮し事業を進めていく。	
状況を示す写真や資料等			
現場状況写真			
 完了  施工中  着手前			
 完了  施工中  着手前			

評価軸③-9

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

評価対象年度		平成28年度
項目	現在の状況	
緑地維持管理事業	☐ 実施済 ☒ 実施中 ☐ 未着手	
事業期間	昭和56年度～平成37年度	
支援事業名	市単独事業	
計画に記載している内容	市が所有する緑地において、傾斜木や枯損木などの危険木、隣接地への越境樹木がある場合、事前の伐採等を行う。	
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で		
緑地維持管理事業の28年度実施数量 ・除草:78緑地において 延べ面積146.825㎡の除草を行った。 ・伐採・枝払い:12緑地において、48本の樹木、110本の竹について伐採・枝払いを行った。 ・防災施設:1緑地について、落石防止網152㎡の設置を行った。		
進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)	
☒ 計画どおり進捗している ☐ 計画どおり進捗していない	道路や家屋に面した危険性のある緑地について、緑地維持管理計画を策定していく。	

状況を示す写真や資料等

現場状況写真



(仮称)山崎1号緑地

ササ刈払い
L=40m×W=1.0m

作業前



作業中



作業後

評価軸③-10
歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

評価対象年度		平成28年度
項目		現在の状況
緑地保全事業		☐ 実施済 ☒ 実施中 ☐ 未着手

事業期間 昭和47年度～平成37年度

支援事業名 市単独事業

計画に記載している内容 美観上優れた樹木、樹林、生け垣を指定し、所有者に対し、適切な管理に係る奨励金を交付する。また、市街化区域に所在する緑地の保全を図るため、土地所有者と緑地保全契約を締結し、奨励金を交付する。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

平成27年度: 樹木等の指定、緑地の契約を締結した。(実績は、下表のとおり)
平成28年度: 樹木等の指定、緑地の契約を継続し、新たな樹木等の指定を実施した。

進捗状況 ※計画年次との対応 実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

■計画どおり進捗している
□計画どおり進捗していない 平成29年度: 樹木等の指定、緑地の契約を継続し、新たな樹木等の指定を予定している。

状況を示す写真や資料等

平成28年度 指定／契約状況及び奨励金交付状況

- ・保存樹木(1本または1株につき年額1,800円)
- ・保存樹林(100平方メートルにつき年額530円)
- ・保存生け垣(片側の面積10平方メートルにつき年額860円)

項目	平成28年度末指定状況		平成28年度末奨励金支出状況		
	件数	本数・面積	件数	本数・面積	奨励金の金額
樹木	67	331	63	318	570,600
樹林	198	2,496,018.46	185	2,421,142.81	12,778,830
生け垣	113	9,734.94	105	9,187.51	755,940
合計	326	-	304	-	14,105,370

※奨励金を辞退された方等を含むため、指定状況とは異なります。
※樹木・樹林・生け垣を重複して指定している方がいるため、件数の合計は各項目の合計と一致しません。

・緑地保全契約

(固定資産税、都市計画税及び特別土地保有税に相当する額
並びに現状維持に対する手当の助成金として1平方メートル当たり13円を乗じて得た額の合計額)

項目	平成28年度末契約状況		平成28年度末奨励金支出状況		
	件数	面積	件数	面積	奨励金の金額
緑地保全契約	117	535,961.72	127	559,415.72	8,644,840

※年度内に契約変更等があったため、契約状況とは異なります。



風致地区に位置するサンゴジュの保存生け垣(笹目町)



御谷山林の保存樹林(雪ノ下)

評価軸③-11

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

平成28年度	
項目	現在の状況
風致保存会助成事業	☐実施済 ☒実施中 ☐未着手
事業期間	昭和58年度～平成37年度
支援事業名	市単独事業
計画に記載している内容	歴史的風致の維持向上に深く関わっている鎌倉風致保存会の運営に対し補助金を交付する。
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で	
鎌倉の歴史的景観と豊かな自然環境を後世に伝えるために活動している(公財)鎌倉風致保存会の組織の充実を図り、自主的運営の強化を図るため、運営費として10,312(千円)の補助金を交付した。	
進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)
☒計画どおり進捗している ☐計画どおり進捗していない	

状況を示す写真や資料等



鎌倉風致保存会が取得し事務所として活用している旧坂井邸洋館



かまくら里山フェスタ(共催:鎌倉市古都保存法施行50周年記念事業実行委員会)での積み木積み大会



鎌倉風致保存会による緑地維持管理活動

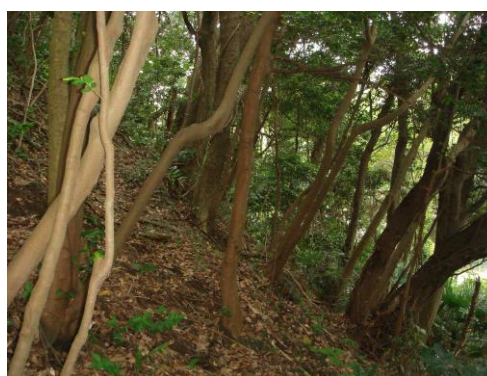


子どもによる緑地管理のボランティア

評価軸③-12

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

		評価対象年度	平成28年度
項目		現在の状況	
歴史的風土特別保存地区買入れ事業		☐ 実施済 ☒ 実施中 ☐ 未着手	
事業期間	昭和42年度～平成37年度		
支援事業名	社会資本整備総合交付金(古都保存・緑地保全等事業)		
計画に記載している内容	歴史的風土特別保存地区内において、土地所有者が建築物その他の工作物の新築等の行為の許可を受けることができず、土地利用に著しい支障をきたすため、土地所有者から土地を買入れるべき旨の申出があった場合、買入れを行う。		
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で			
古都保存法に規定する行為許可基準を満たさないため不許可となった行為のうち、土地所有者からその土地を買入れるべき旨の申出を受けた7件について買入れを行った。			
進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)		
☒ 計画どおり進捗している ☐ 計画どおり進捗していない	土地所有者からの買入れ申出に基づき、予算上可能な範囲内で対応を図る。		
状況を示す写真や資料等			



平成28年度に買入れた土地の例(大仏長谷観音歴史的風土特別保存地区)

評価軸③-13

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

評価対象年度		平成28年度
項目		現在の状況
古都保存法施行50周年記念事業		☒ 実施済 ☐ 実施中 ☐ 未着手
事業期間	平成28年度	
支援事業名	市単独事業	
計画に記載している内容	歴史的風土の大切さを多くの方々とともに考え共有することで、緑豊かな自然環境と一体となった良好な市街地景観を、次世代へ継承する意識の醸成が図られることから、歴史的風致の維持向上に寄与する。	
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で		
・平成28年5月に「鎌倉市古都保存法施行50周年記念事業実行委員会」を立ち上げた。 ・冊子(「鎌倉の歴史的風土の五十年そして未来へ」)の作成及び関連各所へ配布。 ・平成28年12月に京都市で行われた、「古都保存法施行50周年記念シンポジウム」に出席し、シンポジウム会場において「鎌倉の歴史的風土を守るために」のパネル展示をするとともに、冊子(「鎌倉の歴史的風土の五十年そして未来へ」)を参加者に配付した。 ・公益財団法人鎌倉風致保存会と共催による「里山フェスタ」に古都保存法に関するPR等を行った。その中で、小学生以下の子供に対しては、古都保存法に関してクイズ形式にして理解を深めてもらった。		
実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)		
☒ 計画どおり進捗している ☐ 計画どおり進捗していない		
状況を示す写真や資料等		
・公益財団法人鎌倉風致保存会と共催による「里山フェスタ」にて、市民の方々に古都保存法に関するPR等を行った。 ・冊子(「鎌倉の歴史的風土の五十年そして未来へ」)を作成した。 ・シンポジウム会場(京都市)による「鎌倉の歴史的風土を守るために」のパネルを展示及びパネルディスカッションの状況。		
 ・パネル展示の様子  ・鎌倉市が展示したパネル		
 ・鎌倉風致保存会兵藤理事長によるパネルディスカッションの様子		

・公益財団法人鎌倉風致保存会と共催による「里山フェスタ」にて、市民の方々へ古都保存法に関するPR等を行う様子。



・里山フェスタ会場入口の様子



・古都保存法施行50周年の啓発活動時の様子



・古都保存法の啓発活動 古都保存法を説明している様子



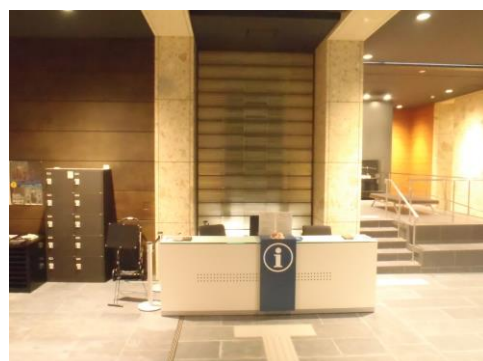
・鎌倉市古都保存法施行50周年記念誌

評価軸③-14

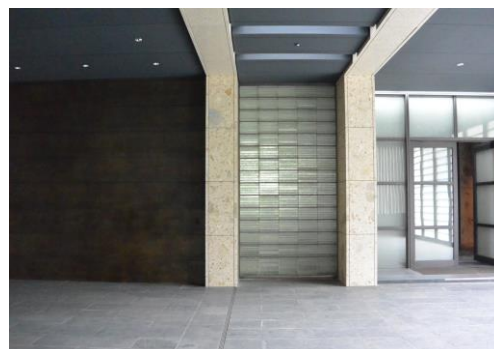
歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

項目		評価対象年度	平成28年度
		現在の状況	
(仮称)鎌倉歴史文化交流センター整備事業		☒ 実施済 ☐ 実施中 ☐ 未着手	
事業期間	平成25年度～平成28年度		
支援事業名	市単独事業		
計画に記載している内容	歴史的風致の維持向上に係る啓発活動の拠点施設として、(仮称)鎌倉歴史文化交流センターを整備する。		
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で			
鎌倉の歴史及び文化に関する展示並びに教育及び普及の事業の実施により、市民及び鎌倉を訪れる人の鎌倉の歴史的遺産及び文化的遺産への理解を深めるとともに、交流の場の提供により市民の交流を促進するため、平成29年3月に「鎌倉歴史文化交流館」として施設整備が完了した。			
進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)		
☒ 計画どおり進捗している ☐ 計画どおり進捗していない	今後は、館内の展示製作を行い、平成29年5月15日の開館を目途に準備を進めていく。		
状況を示す写真や資料等			

整備後



整備前



評価軸③-15

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

評価対象年度		平成28年度
項目		現在の状況
発掘調査速報展事業		☐ 実施済 ☒ 実施中 ☐ 未着手
事業期間	平成25年度～平成37年度	
支援事業名	市単独事業	
計画に記載している内容	前年度に市内で行われた発掘調査について、出土した遺物や調査中の写真などの展示を行うとともに、併せて遺跡調査研究発表会を行う。また、「鎌倉の埋蔵文化財」として調査の概要を冊子にまとめ、無償配布する。	
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で		
・平成27年度に市内で実施した発掘調査の成果について、平成28年度の遺跡調査速報展において展示した。開催中の8月7日には、NPO法人鎌倉考古学研究所と共催で、遺跡調査研究発表会を実施した。 ・平成27年度実施の発掘調査成果を写真で紹介する『鎌倉の埋蔵文化財』20を刊行した。 【速報展】 ・観覧者数 延べ304人 【研究発表会】 ・観覧者数 約120人 【『鎌倉の埋蔵文化財』20】 ・発行数 3,000冊		
進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)	
☒ 計画どおり進捗している ☐ 計画どおり進捗していない	各事業について、観覧者を増やすために、より効果的なPRの方法を検討する。	
状況を示す写真や資料等		
【速報展】 ・開催期間 平成28年8月2日(火)～8日(月)(2日と8日は準備・片付け) ・会場 鎌倉生涯学習センター ギャラリーC		
遺跡調査速報展の様子 		
【研究発表会】 ・開催日 平成28年8月7日(日) ・会場 鎌倉生涯学習センター ホール 【『鎌倉の埋蔵文化財』20】 ・平成29年3月31日刊行。		

評価軸③-16

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

評価対象年度		平成28年度		
項目		現在の状況		
出土遺物庁舎内展示事業		☐ 実施済 ☒ 実施中 ☐ 未着手		
事業期間	平成27年度～平成37年度			
支援事業名	市単独事業			
計画に記載している内容	市内の発掘調査において出土した遺物を市庁舎内に展示する。			
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で				
平成28年度の常設展示 ・展示資料数 常設:8点 ・展示替え3回(遺物2回、パネルのみ1回)				
進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)			
☒ 計画どおり進捗している ☐ 計画どおり進捗していない	展示替えの回数を増やし、より多くの遺物を展示できるよう工夫していく。			
状況を示す写真や資料等				
【庁内展示】 ・開催期間 通年 ・展示場所 鎌倉市役所4階文化財課カウンター横 庁内展示の様子				
  				

評価軸③-17

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

評価対象年度		平成28年度
項目	現在の状況	
史跡環境整備事業	☐ 実施済 ☒ 実施中 ☐ 未着手	
事業期間	昭和37年度～平成37年度	
支援事業名	国宝重要文化財等保存整備費補助金(文化財保存事業)	
計画に記載している内容	市内に点在する国指定の史跡について適切な保存管理と公開活用を行うため、防災工事、危険木の伐採、歩行路の確保、史跡説明板等の設置などを行う。	
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で		
市が管理する史跡において、平成28年度は史跡北条氏常盤亭跡で、斜面(史跡指定地内)に隣接した住宅(史跡指定地外)を土砂崩落などの災害から守ることを目的として、防災工事などの史跡環境整備を行い、史跡大町釈迦堂口遺跡で樹林管理及び土砂崩落防止のための調査設計、史跡法華堂跡で土砂崩落防止のための環境整備、史跡和賀江嶋で現況把握調査等を実施した。		
進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)	
☒ 計画どおり進捗している ☐ 計画どおり進捗していない	史跡が多いため、同時に複数の史跡の管理が困難であるが、平成28年度から維持管理にかかる予算を増額し対応している。	
状況を示す写真や資料等		



史跡大町釈迦堂口遺跡

評価軸③-18

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

評価対象年度		平成28年度
項目		現在の状況
文化財保存・修理助成事業		☐ 実施済 ☒ 実施中 ☐ 未着手
事業期間	昭和36年度～平成37年度	
支援事業名	国宝重要文化財等保存整備費補助金(文化財保存事業)	
計画に記載している内容	国・県・市の指定を受けている文化財(建造物)うち、修理が必要なものについて修理費用の助成を行う。	
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で		
・国指定重要文化財「鶴岡八幡宮摂社若宮」の保存修理事業を実施した(平成27年度から継続)。 ・市指定文化財「円覚寺正統院開山堂」の保存修理事業を実施した(平成28年度)。		
進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)	
☒ 計画どおり進捗している ☐ 計画どおり進捗していない	(鶴岡八幡宮摂社若宮) 毎月1回、所有者である鶴岡八幡宮、修理業者、市役所担当職員による定例会議を実施。事業の進捗状況や修理方針についての確認などを行っている。 ※年に1回程度、文化庁担当官による現地指導も実施している。 (円覚寺正統院開山堂) 8月から10月にかけて修理を実施。事前に本市文化財専門委員の意見を聴取している。	
状況を示す写真や資料等		
 仮設足場を建設(鶴岡八幡宮摂社若宮)		
 揚屋工事(円覚寺開山堂)		

評価軸③-19

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

		評価対象年度	平成28年度
項目		現在の状況	
文化財調査・整備事業		☐ 実施済 ☒ 実施中 ☐ 未着手	
事業期間	昭和47年度～平成37年度		
支援事業名	国宝重要文化財等保存整備費補助金(文化財保存事業)		
計画に記載している内容	市指定文化財の管理者に対して文化財の適正な管理に係る奨励金を交付する。また、発掘調査の実施や埋蔵文化財の記録保存を行う。		
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で			
【市指定文化財保存管理奨励金】 ・交付対象市指定文化財件数 191件 ・所有者等 75名 【発掘調査】 ・調査件数 4件 【報告書刊行】 ・遺跡数 11件(平成18年～27年実施分) ・発行数 各300部(第1分冊及び第2分冊)			
進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)		
☒ 計画どおり進捗している ☐ 計画どおり進捗していない	交付対象となる市指定文化財については、定期的に所在の確認と把握を行っていく。		
状況を示す写真や資料等			

【発掘調査】

・積善遺跡の発掘調査において発見された遺跡と遺物



歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

評価対象年度		平成28年度
項目		現在の状況
観光案内板整備事業		☐ 実施済 ☒ 実施中 ☐ 未着手

事業期間 昭和39年度～平成37年度

支援事業名 市単独事業

計画に記載している内容 歴史的遺産の周辺等来訪者多い場所において、歴史的遺産の紹介や観光ルート等に関する案内板の新設・改修・修繕を実施する。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

一般的にあまり知られていない鎌倉の歴史を紹介する案内板を、市内5ヶ所に設置するにあたり、そのテーマや内容の検討を行った。その結果、板面の色彩やデザインについて、内容や景観に沿ったものとし、平成29年3月に案内板を設置した。

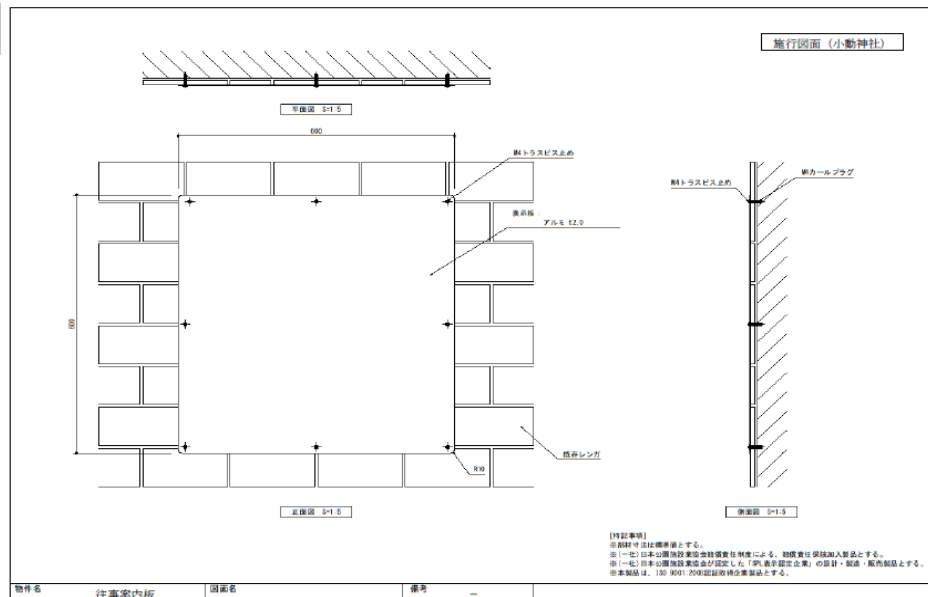
進捗状況 ※計画年次との対応

実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

☒計画どおり進捗している
☐計画どおり進捗していない

状況を示す写真や資料等

設置予定の案内板図面



設置予定の案内板板面デザイン



評価軸③-21

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

項目		評価対象年度	平成28年度			
			現在の状況			
鎌倉彫振興事業所整備事業			☐ 実施済 ☒ 実施中 ☐ 未着手			
事業期間	平成27年度～平成29年度					
支援事業名	社会資本整備総合交付金(住宅建築物安全ストック形成事業)					
計画に記載している内容	伝統的工芸品である鎌倉彫の保護・育成を図るため、活動拠点となる施設のバリアフリー工事化や耐震改修工事等を実施する。					
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で						
平成27年度:耐震診断を実施(耐震性能の指標 I_s が0.48と基準の0.6を下回る結果) 平成28年度:耐震改修工事設計を実施(耐震診断結果を踏まえ、 $I_s=0.75$ を目標とした補強のための設計)						
進捗状況 ※計画年次との対応		実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)				
☒ 計画どおり進捗している ☐ 計画どおり進捗していない		平成29年度:耐震改修工事を予定 なお、バリアフリー工事については、建築敷地が狭小であることや事業費等を勘案し、再考を行っていく。				
状況を示す写真や資料等						



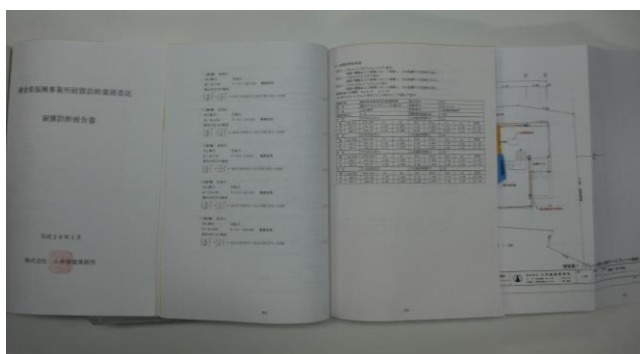
現況 外観(耐震改修前)



現況 階段室(耐震改修前)



現況 1階展示資料室(耐震改修前)



耐震診断報告書(平成27年度)

評価軸③-22

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

評価対象年度		平成28年度
項目		現在の状況
郷土芸能普及啓発支援事業		☐ 実施済 ☒ 実施中 ☐ 未着手
事業期間	昭和45年度～平成37年度	
支援事業名	市単独事業	
計画に記載している内容	関係団体との協働により、郷土芸能の普及啓発の場である鎌倉郷土芸能大会を開催する。	
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で		
第47回鎌倉郷土芸能大会を開催した。 ・開催日時 平成28年10月23日(日) ・開催場所 鎌倉生涯学習センター ホール		
平成28年度は9団体による実演を行い、鎌倉に伝わる郷土芸能を広く一般に周知することを図った。		
進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)	
☒ 計画どおり進捗している ☐ 計画どおり進捗していない	鎌倉郷土芸能大会の来場者を増やすために、より効果的なPRの方法を検討する必要がある。	

状況を示す写真や資料等

第47回鎌倉郷土芸能大会の様子



評価軸③-23

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

項目	評価対象年度	平成28年度
御霊会助成事業		現在の状況 ☐ 実施済 ☒ 実施中 ☐ 未着手

事業期間 昭和51年～平成37年度

支援事業名 市単独事業

計画に記載している内容 面掛行列の実施、実施に必要な衣装・用具の保存や維持管理、行事の担い手の育成を図っている御霊会へ補助金を交付する。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

歴史・伝統を活かした地域づくりを推進するとともに、地域に伝わる伝統行事を後世に伝えることを目的として、面掛行列を実施している御霊会に対し、平成28年度は60,000円の補助金の交付による支援を行った。

進捗状況 ※計画年次との対応

実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

☒計画どおり進捗している
☐計画どおり進捗していない

状況を示す写真や資料等

面掛行列の様子



面掛行列ルート図

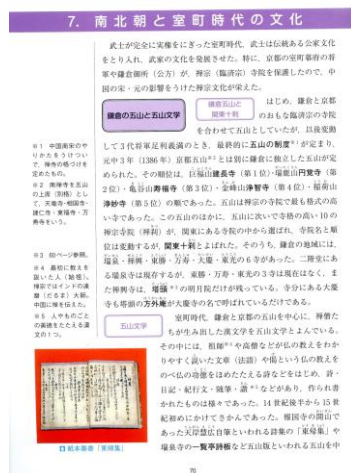
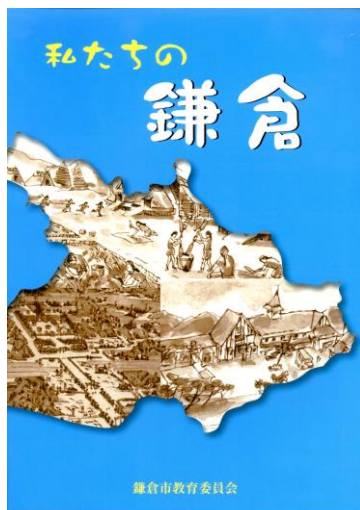


評価軸③-24

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

平成28年度	
項目	現在の状況
教育情報事業	☐実施済 ☒実施中 ☐未着手
事業期間	昭和57年度～平成37年度
支援事業名	市単独事業
計画に記載している内容	市内の小・中学校の郷土学習の資料として学習資料を作成し、配付する。
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で	
平成27年度に中学校社会科学習資料「私たちの鎌倉」の改訂を行った。平成28年度は小学校社会科学習資料「かまくら」の改訂を行った。(中学校理科学習資料「鎌倉の自然」も含め、3種類を3年ローテーションで改訂を行っている) 毎年度、「私たちの鎌倉」を中学校1年生に、「かまくら」を小学校3年生に配付している。子どもたちが地域の歴史を学び、固有の文化や伝統行事を次世代に継承する意識の醸成を図った。	
進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)
☒計画どおり進捗している ☐計画どおり進捗していない	

状況を示す写真や資料等



中学校社会科学習資料「私たちの鎌倉」



小学校社会科学習資料「かまくら」

評価軸④-1

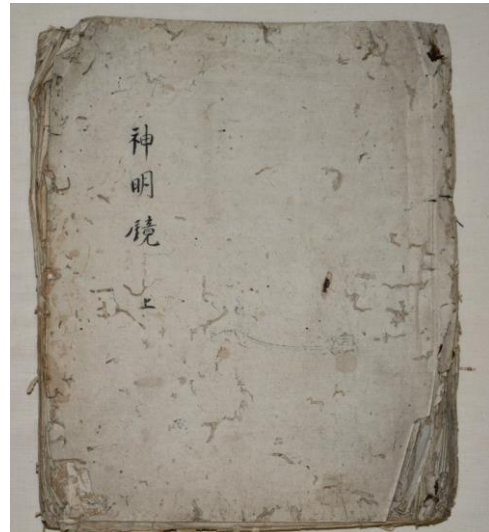
文化財の保存又は活用に関する事項

項目		評価対象年度	平成28年度
			現在の状況
文化財の指定			☐ 実施済 ☒ 実施中 ☐ 未着手
計画に記載している内容	未指定の物件については、計画的・継続的な調査研究を進め、それらの学術的、歴史的及び芸術的等の価値を確定させるとともに、特に保存と活用の措置を講じる必要性等を見極めながら、順次指定等を行うこととする。		
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で			
平成28年度の市指定文化財として、「木造 大黒天立像 一軀」「紙本墨書 神明鏡 二冊」「大倉幕府跡出土の雅楽器文鏡 一面」について、平成28年11月28日開催の鎌倉市文化財専門委員会への諮問に対し、平成29年1月27日に答申を受け、平成29年2月17日に教育委員会の告示により指定した。			
進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)		
☒ 計画どおり進捗している ☐ 計画どおり進捗していない			

状況を示す写真や資料等



木造 大黒天立像 一軀



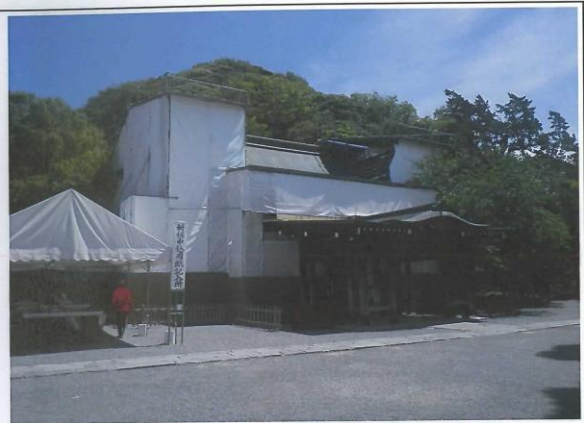
紙本墨書 神明鏡 二冊



大倉幕府跡出土の雅楽器文鏡 一面

評価軸④-2

文化財の保存又は活用に関する事項

評価対象年度		平成28年度
項目		現在の状況
文化財の修理(整備事業を含む)及び防災		☐ 実施済 ☒ 実施中 ☐ 未着手
計画に記載している内容	市は引き続き、国及び神奈川県と連携し、指導・助言及び修理等に係る助成を計画的に行い、指定文化財等の適切な保存を図る。 文化財の保存・活用に向け、防災・防犯に取り組んでいく。	
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で		
・国指定重要文化財「鶴岡八幡宮摂社若宮」及び市指定文化財「円覚寺正統院開山堂」の保存修理事業を実施した(P.22)。 ・国指定史跡永福寺跡について広く一般に公開するための環境整備を行った。(P.5) ・市が管理する国指定史跡において、史跡北条氏常盤亭跡での防災工事などの史跡環境整備、史跡大町釈迦堂口遺跡で樹林管理及び土砂崩落防止のための調査設計を、史跡法華堂跡で土砂崩落防止のための環境整備を、史跡和賀江嶋で現況把握調査等を実施した。(P.21) ・「鎌倉文化財防災連絡協議会」を運営し、機械警備等への補助や、総会を開催し、過去の鎌倉での災害の講演会を開催し、防災への意識の向上を図った。		
実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)		
☒ 計画どおり進捗している ☐ 計画どおり進捗していない		
状況を示す写真や資料等		
 重要文化財 鶴岡八幡宮摂社若宮  市指定文化財 円覚寺開山堂  史跡大町釈迦堂口遺跡  史跡永福寺跡		

評価軸④-3

文化財の保存又は活用に関する事項

評価対象年度		平成28年度
項目	現在の状況	
文化財の保存・活用の普及及び啓発	☐ 実施済 ☒ 実施中 ☐ 未着手	
計画に記載している内容 文化財の活用を図ることは、市の目指す「住み続けたい、住んでみたい、訪れたい」まちづくりの一端を担うこととなり、所有者の意向を踏まえながら、引き続き積極的な公開活用を図る必要がある。		
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で		
・平成27年度に市内で実施した発掘調査の成果について、遺跡調査速報展において展示した。開催中の8月7日には、NPO法人鎌倉考古学研究所と共催で、遺跡調査研究発表会を実施した。平成27年度実施の発掘調査成果を写真で紹介する『鎌倉の埋蔵文化財』20を刊行(P.19)。 ・出土遺物について、常設展示を開催(P.20)。 ・市民を対象に市内に存する文化財を巡る「文化財めぐり」を平成29年1月25日に開催した。		
進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)	
☒ 計画どおり進捗している ☐ 計画どおり進捗していない		
状況を示す写真や資料等		
遺跡調査速報展の様子  市内展示の様子  文化財めぐり (神霊教鎌倉練成場) (平成29年1月25日) 参加者数 18名 		

評価軸⑤-1

効果・影響等に関する報道

報道等タイトル		評価対象年度	平成28年度
年月日		掲載紙等	
鎌倉市の風致計画 国が認定		平成28年1月26日	読売新聞
「鎌倉カーニバル」の熱気再び		平成28年4月16日	毎日新聞
日本遺産 鎌倉、伊勢原、横須賀が認定		平成28年4月26日	産経新聞他
禅の奥深さと總持寺 鎌倉国宝館で特別展		平成28年4月28日	神奈川新聞
大輪のバラ 優美に 来月5日までまつり(鎌倉文学館)		平成28年5月19日	神奈川新聞
鎌倉アカデミア創立70周年理想追った伝説の「大学」(光明寺)		平成28年5月29日	朝日新聞
鎌倉古墳時代の箱式石棺墓出土 10代半ば男性埋葬		平成28年6月7日	毎日新聞
彫刻など3件が市有形文化財に		平成29年2月17日	神奈川新聞他
日本遺産を旅する		平成29年2月号	雑誌 一個人(とじ込み付録)
日本遺産		平成29年1月15日	BS-TBS(テレビ放送)
Carving Out a Balance in Kamakura(4月号)		平成29年3月	内閣府広報誌ハイライトジャパン
日本遺産の旅(4月号)		平成29年3月	セゾンカード会員向け雑誌 てんとう虫

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

- ・歴史的風致維持向上計画の認定を始め、その施策や事業に関連する新聞報道がされた。
- ・また、歴史的風致維持向上計画をもとに作成した、日本遺産ストーリーが平成28年4月25日に文化庁によって認定され、鎌倉のストーリーはテレビ局のネットニュース、ラジオ、新聞、雑誌などメディア各種に多数紹介された。
- ・鎌倉市の情報が新聞に取り上げられた件数(H26:2,387件 H27:2,050件 H28:1,733件)

進捗状況 ※計画年次との対応

実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

- 計画の進捗に影響あり
■計画の進捗に影響なし

状況を示す写真や資料等



●雑誌「一個人」平成29年2月号

●BS-TBS
「日本遺産」
平成29年1月15日放送

●内閣府広報誌「ハイライトジャパン」平成29年4月号



●セゾンカード会員向け雑誌「てんとう虫」平成29年4月号

		評価対象年度	平成28年度
項目			
日本遺産の認定			
計画に記載している内容	鎌倉市の維持及び向上すべき歴史的風致(全般)		
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で。記事・議会議事録等を添付			
「鎌倉市歴史的風致維持向上計画」をベースに作成した、鎌倉の歴史・文化・伝統を語るストーリー『「いざ、鎌倉」～ 歴史と文化が描くモザイク画のまちへ ～』が日本遺産として、平成28年4月25日に文化庁から認定された。			
進捗状況 ※計画年次との対応		実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)	
□計画の進捗に影響あり ■計画の進捗に影響なし		2020年の東京オリンピック・パラリンピック競技大会に向け、国内外からの訪問客に向けて、社寺をはじめとする数多くの文化財を活用した情報発信や環境整備を推進していく。	
状況を示す写真や資料等			

○日本遺産サミットIN岐阜

開催日 平成28年7月1日

場 所 岐阜市長良川国際会議場



認定証交付式の様子



サミット展示ブースの状況



日本遺産認定証

○日本遺産いざ鎌倉フォーラム

開催日 平成29年3月26日

場 所 鎌倉商工会議所地下ホール

・第1部 基調講演

講演テーマ「鎌倉の歴史的風致」

講演テーマ「鎌倉文士」

・第2部 座談会

テーマ「歴史と文化が描くモザイク画のまち・鎌倉」



第2部 座談会の様子

評価対象年度		平成28年度
項目		
歴史的遺産と共生するまちづくり(鎌倉市歴史的風致維持向上計画)の啓発		
計画に記載している内容	特になし	
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で。記事・議会議事録等を添付		
鎌倉市が目指す将来都市像の実現に向け、「歴史的遺産と共生するまちづくり」の推進を考え方の一つとして、その具体的な取組である「鎌倉市歴史的風致維持向上計画」について啓発を行った。また、関東圏歴史的まちなみ等地域資産保存・活用推進会議及び歴史的景観都市協議会において事例発表を行った。		
進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)	
☐ 計画の進捗に影響あり ☒ 計画の進捗に影響なし		
状況を示す写真や資料等		
○講演及び研修 ・鎌倉ガイド協会 平成28年6月18日及び10月30日 ・関東学院大学 平成28年7月11日 ○視察対応 ・慶応ユネスコクラブ 平成28年4月24日 ・宮城教育大学附属中学校 平成28年5月9日 ・石川県珠洲市議会 平成28年6月6日 ・東京大学 平成28年7月19日 ・石川県白山市議会 平成28年7月22日 ・駒場東邦中学校 平成28年10月28日 ・山口県山口市議会 平成28年11月17日 ・横浜市立南中学校 平成28年12月8日 ○関東圏歴史的まちなみ等地域資産保存・活用推進会議 開催日 平成28年10月6日及び7日 場 所 長野県東御市 ○歴史的景観都市協議会 開催日 平成28年10月27日及び28日 場 所 長崎県長崎市		
 		
事例発表の様子		

評価対象年度	平成28年度
・法定協議会等におけるコメント	
コメントが出された会議等の名称:平成28年度第1回歴史的風致維持向上計画協議会	
会議等の開催日時:平成29年3月13日(月)午後3時から	
■会議次第 (1)議題 ア「鎌倉市歴史的風致維持向上計画」の進行管理・評価について イ「鎌倉市歴史的風致維持向上計画」の軽微な変更について (2)報告 歴史的風致形成建造物の指定について (3)その他 ■進行管理・評価に関する委員からのコメント概要 ・緑地保全事業(進捗評価シート③-10)について、状況を示す写真や資料等が平成27年度の実績であるため、平成28年度の実績が集計できるのであれば、時点修正した方がよい。 ・古都保存法施行50周年記念事業(進捗評価シート③-13)の状況を示す写真のキャプションを分かりやすく表示すべきである。 ・各事業における支援事業名の記載方法は統一した方がよい。 ・御霊会助成事業(進捗評価シート③-23)は計画書の写真を転用しているため、平成28年度に実施した写真を掲載した方がよい。 ・史跡環境整備事業(進捗評価シート③-17)については、広域な事業であり、文化財的に付加価値が高いとされる永福寺跡などの整備を含めて進めなければいけない中で、何を優先させるかの検討が必要である。また、対応方針の記載は、毎年予算を増額していくイメージを持たれるのではないかと。そのようなことを含め、理想と現実の表現が難しいところである。 ・郷土芸能普及啓発支援事業(進捗評価シート③-22)として、鎌倉郷土芸能大会を開催しているが、課題と対応方針の中で、来場者を増やすとあるが、実際の来場者はどのくらいの人数であるのか、また、どのように取り組んでいくのか。 ・歴史的風致形成建造物保存整備事業(進捗評価シート③-4)の実施・検討にあたっての課題と対応方針の記載について、文化財の指定と登録は全く違う制度であるため、正確に記載していただきたい。「文化財に指定或いは登録されている」という表現に改めていただきたい。 ・歴史的風致形成建造物について、現在9件が指定候補として挙げられているが、文化財等の登録や景観重要建造物に指定されていない建造物についても、今後登録することで良いのか。また、整備については、市の単独事業として行っていくのか、それとも国の補助と併せ持つていくのか。歴史的風致形成建造物と称している場合の財源は、景観重要建造物と同じ基金で考えていくことで良いのか。 ・事業の全般的なことであるが、効果的なPRの方法を模索するという表現が続くと何も打開策がないと捉えられるのではないかと。 ・発掘調査速報展事業(進捗評価シート③-15)について、県埋蔵文化センターのホームページで周知等を行なったものの、観覧者数が少ない結果となった。7月あたりに神奈川県も広報の講座等を行っているので、その際にチラシ等を貰えれば広報の方へ配布することもできる。今後も連携を深めていきたい。 ・効果・影響等に関する報道(進捗評価シート⑤-1)及びその他(進捗評価シート⑥-1)の進捗状況について、「計画の進捗に影響あり」となっているが、小田原市や萩市の報道に関しての計画の進捗に影響は「なし」となっている。記載の方法について再確認する必要がある。 ・市単独事業を行うことは素晴らしいと思うが、市単独であるならば事業は市で行えば良いのではないかと、計画にどう関係があるのかと思われがちである。しかし、この計画の中に位置づけられることにより、市の事業も継続して同じ方向を見て少なくとも10年間は事業を続けていくことになる。そして、協議会等でチェックもするため、ある意味、進行管理・評価が表に出ることに意味があると考えられる。事業は沢山あるものの、国の補助事業は少ないため、見る人によっては補助金もあまり無いのに、この計画は何だと思われる方も居るかも知れないが、10年間の計画をすることで方向性が定まるということである。 ・都市計画に関する施策(進捗評価シート②-1)の中で、都市計画道路の見直しについては、廃止だけでなく、存続の道路もあるのではないかと。 ・景観重要建築物等助成事業(進捗評価シート③-1)の基金については、大変重要であり、マネジメントの考え方からすると、他の事業等による収益を基金に入れるようなことも可能であり、そのような考えがあれば、もう少し積極的な基金への対応が考えられる。 ・史跡永福寺跡環境整備事業(進捗評価シート③-2)の課題の対応策として、便益施設の必要性を説明し、極力影響の少ない位置を選定すると共に、施設周辺と防犯上問題ない範囲で修景するなど、理解が進むよう調整を図る必要がある。 ・社寺境内公衆トイレ改修・整備事業(進捗評価シート③-6)について、歴史的風致の区域内にある都市公園(源氏山公園・鎌倉海浜公園等)のトイレについて、観光客が多く訪れることから、事業担当課において改修等の予定があれば事業追加の検討も考える必要がある。 ・樹林維持管理事業(進捗評価シート③-8)の課題として、人工林については、材価の低落等により放置され、日照がなくなることによって地被植物層が貧困となり、エロージョンを起こすなどの問題もある。	

■今後の対応方針

- ・進捗評価シートへの記載内容や写真・資料等の時点修正について、協議会委員のコメントをできる限り反映する。
- ・史跡環境整備事業（進捗評価シート③－17）について、計画期間である平成28年度から37年度までの間に出来得ることを進めていく。現在、神奈川県内で60の国指定史跡がある中、鎌倉市では31の指定遺跡を抱えており、そのうち市が管理しなければならない史跡が10数件ある状況で、場当たりのではなく、どのようなプライオリティを付けていくかの作業を行っていく。また、予算を増額して対応することについては、平成28年度から維持管理費を倍増させる形で維持管理に臨んでいるが、それでも間に合わない状況である。毎年増額していくと言うよりも、仕組みを変えて単に委託事業で行うだけではなく、やり方を変えるなどの工夫をして対応する必要があると考えている。
- ・郷土芸能大会入場者は、平成26年度130名、平成27年度291名、平成28年度151名で、平成27年度と平成28年度を比較すると来場者数が減少している。郷土芸能大会の実施前に鶴岡八幡宮の境内を使用し「祭りばやし大会」開催時にチラシ等を配布するなどの周知を継続して図っていく。
- ・効果・影響等に関する報道（進捗評価シート⑤－1）及びその他（進捗評価シート⑥－1）について、計画自体に直接的な影響はないことから「影響なし」に記載を修正した。
- ・適宜、市の広報媒体、ホームページ、広報かまくら等を活用しながらPR活動を行っているが、難しい部分もある。画期的な方法として、最近ではSNS等もあり、研究していく必要があると考えている。もう一つ、構成事業の「（仮称）鎌倉歴史文化交流センター整備事業」が平成28年度で終了し、開館に向けて準備を行っている。この交流センターを核にPRしていくことも考えており、今後、連携を図っていく。
- ・歴史的風致形成建造物は、市の後期実施計画で事業計画の位置付けがあるものと文化財等の有形文化財の登録や景観重要建築物等の指定がされているものを総合的に判断し、順次、9件全ての候補物件を登録していくことを考えている。建造物の整備については、市単独事業で出来るものと出来ないものがあるため、整備等に係る経費について国庫補助を獲得するような形で事業を進めていきたい。
- ・「景観重要建造物等保全基金」について、現時点では他事業の収益を繰り入れるなどの制度設計が未成熟の状態であり、今後の研究課題としていきたい。
- ・史跡永福寺跡環境整備事業（進捗評価シート③－2）の課題の対応策について、便益施設の必要性などを十分説明し、隣接所有者等の理解を得ていく。
- ・社寺境内公衆トイレ改修・整備事業（進捗評価シート③－6）の推進に当たって、都市公園内の公衆トイレも含めた整備の優先度等について事業担当課と調整を図っていく。事業の追加については、計画変更の対象となることから、必要に応じて関係省庁に相談を行っていく。